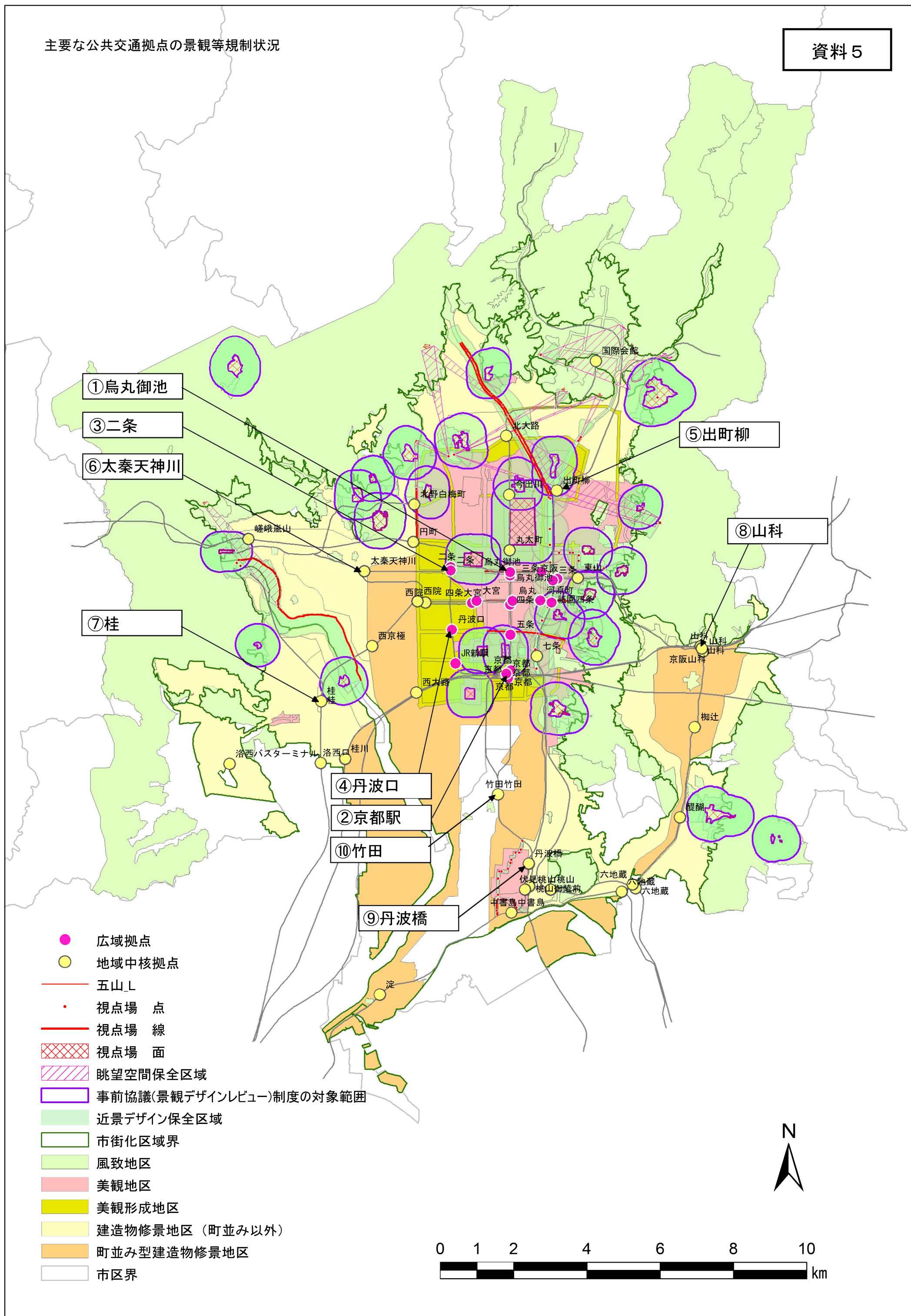


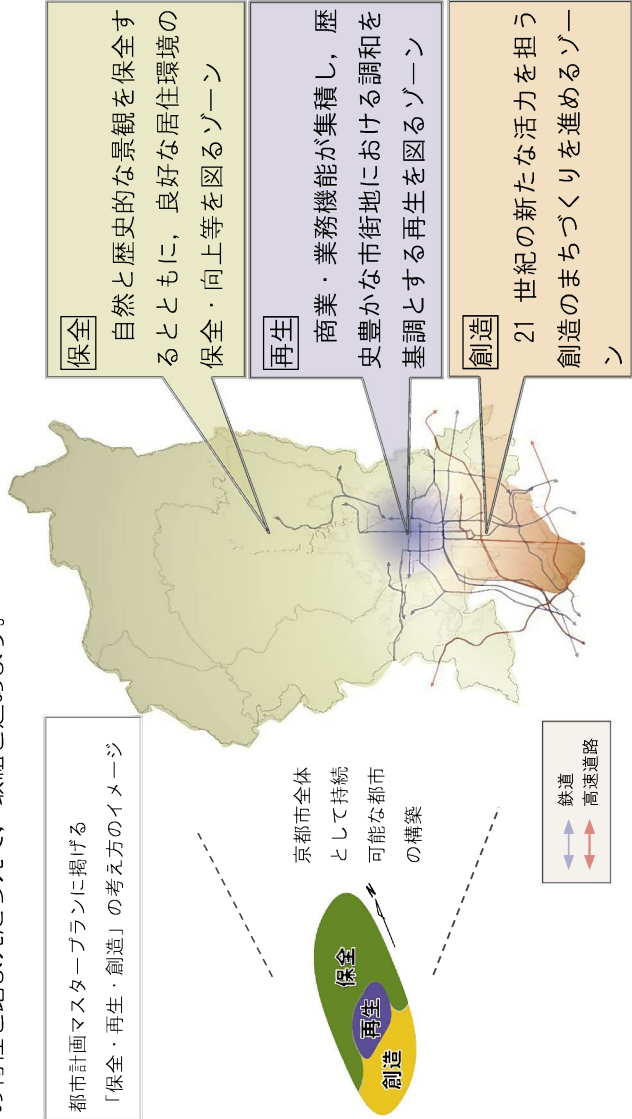


第4章 持続可能な都市構造と地域の将来像

1 各地域の分類の考え方

今後、中長期的に人口減少及び少子高齢化が避けられない中、市域全域を見渡して、京都の都市特性を十分に活かした持続可能な都市構造の実現を図っていく必要があります。そのため、本プランでは、これまでの「保全・再生・創造」の土地利用を基本とし、「京都市都市計画マスタープラン」の考え方を踏まえ、市内各地域それぞれの関係性なども考慮しながら、市内全体を5つのエリアに分類します。

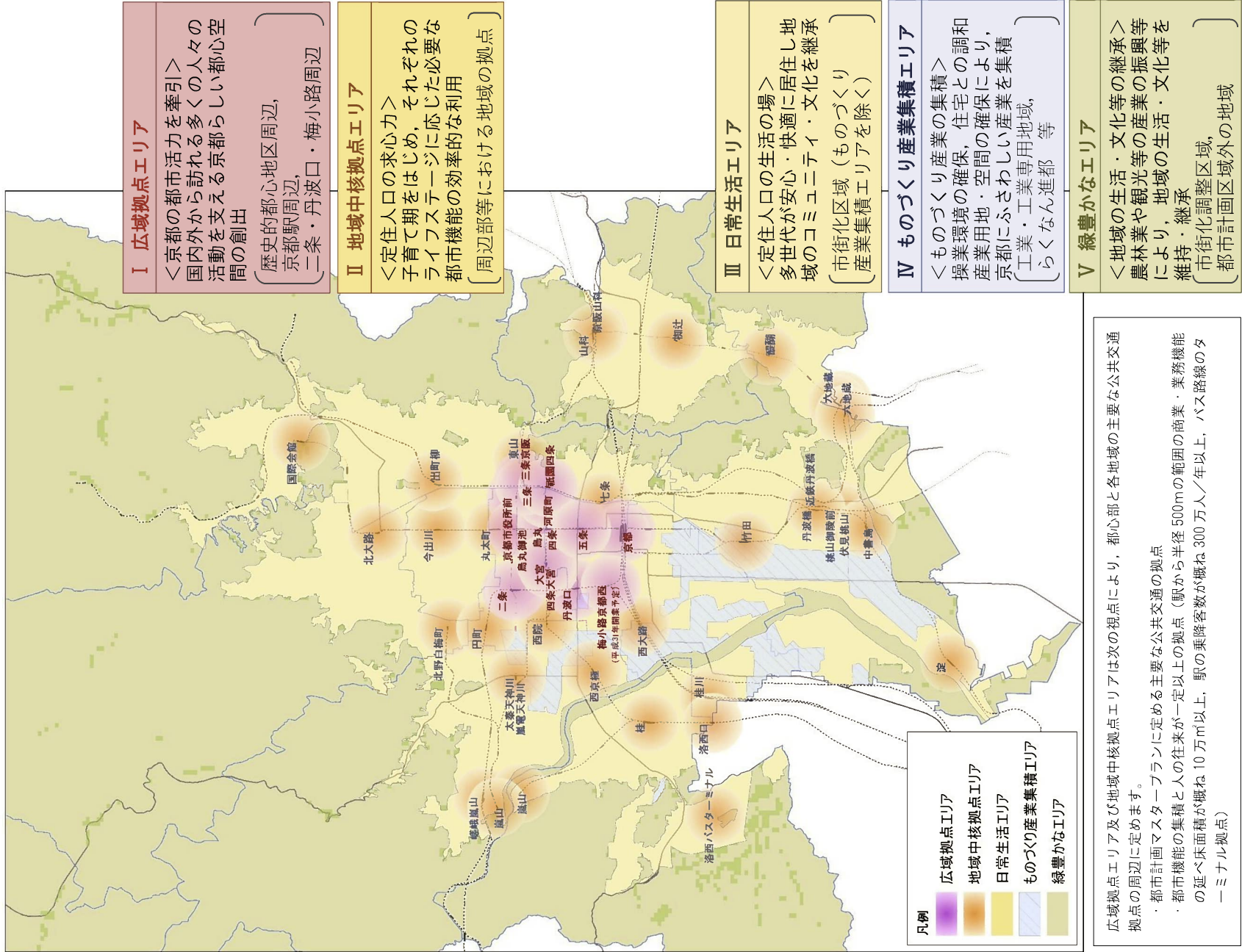
また、適正な土地利用や都市機能の誘導に当たっては、地域ごとの役割などを考慮し、地域の特性を踏まえつつうえで、取組を進めます。



(1) 基本方針と地域の分類



(2) 各地域の基本的な役割と場所



2 各地域の将来像と暮らしのイメージ

持続可能な都市構造を目指した各地域の将来像と暮らしのイメージを示します。

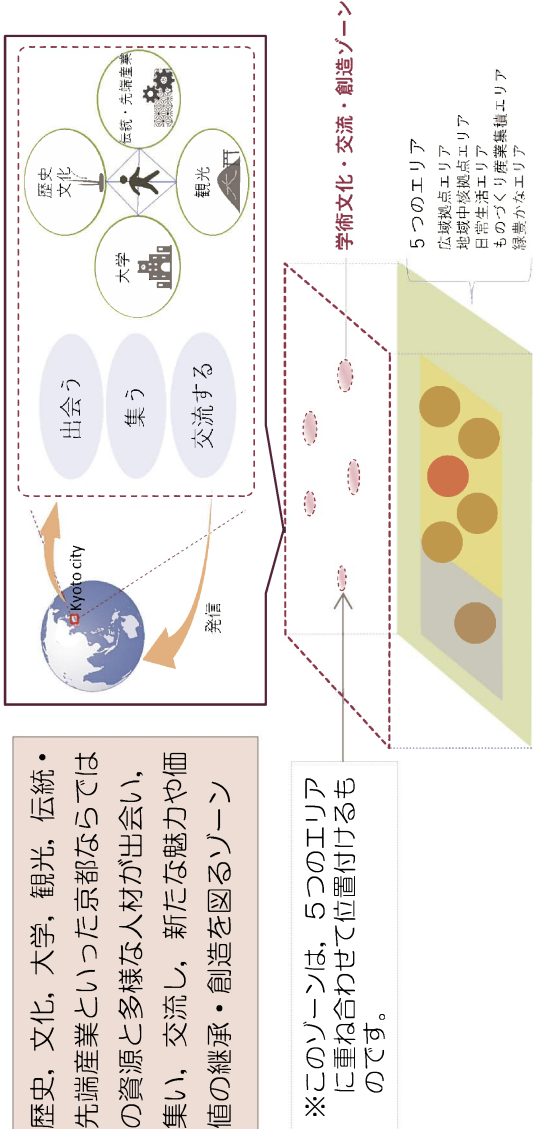
(箱書きは、各地域にとって重要な施設の例)

I 広域拠点エリア	1 広域的な商業施設、多くの企業が活動するオフィスビルや、ホールなどが集積し、機能的な都市環境の整備が進み、国内外から人々が集い、働き、交流が行われている。 2 都市心居住による地域の文化・コミュニティや職と住が共存する町並みが維持され、京都の歴史や文化が脈々と受け継がれている。 3 鉄道や道路などの都市基盤整備の状況に応じて、商業・業務がさらに活況を呈し、ゆとりあるオフィス空間が集積し、多様な人材が集い、新たな活力が生み出されている。 百貨店、オフィス、MICE施設 等
II 地域中核拠点エリア	1 各地域における主要な公共交通の拠点として、一定規模の商業施設や各種サービス施設、地域の拠点となる病院など、多様な都市機能を徒歩圏で効率的に利用できる。 2 子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて、必要な機能を選んで快適に利用でき、地域の魅力と暮らしの楽しさを実感している。 3 時代の変化に応じて、ニーズに合わなくなった建物の更新や改修が行われるなど、まちの魅力や活力が維持・向上している。 一定規模の商業施設、地域の拠点病院 等
III 日常生活エリア	1 日常生活を支える商業施設、病院、保育所、高齢者福祉施設などが身近に存在するとともに、公共交通でスムーズに移動でき、安心安全・快適に暮らしている。 2 既存ストックの活用が進み、京都ならではの暮らしや生活文化が継承されるとともに、郊外では、豊かな自然や農業と調和した、ゆとりある居住環境を維持している。 3 ニュータウンの再生・活性化など地域の特性に応じたまちづくりが進められるとともに、子育て・教育環境の充実、若年・子育て世代のニーズに合った住宅供給など、暮らしでみたくなる生活空間が確保されている。 スーパー、病院・診療所、保育所、高齢者福祉施設 等
IV ものづくり産業集積エリア	1 市街化が進んでいる工業地域では、工場の操業環境が、住宅と調和しながら確保され、都市の成り立ちや利便性を活かし、多様なものづくり産業が活発に活動している。 2 更なる工場の集積が期待できる工業地域では、工場と住宅との調和を図りながら一定まとまった産業用地やゆとりある産業空間が確保され、ものづくり産業の事業拡大や新規立地が進んでいる。 3 らくなん進都などでは、国内外の最先端のものづくり企業の本社オフィスや生産、研究開発、物流施設等が集積している。 ものづくり関連の工場、研究所、オフィス、物流施設 等

V 緑豊かなエリア	1 京都ならではの山紫水明の景観を形成する三方の山々が保全され、地域の自然や農業、歴史資源などを活かした文化的・経済的な交流が活発になっている。 2 多様な地域特有の暮らしが継承されるとともに、ゆとりある生活を求める人々の移住・定住が促進され、地域の生活や文化、コミュニティの維持が図られている。 3 農業や観光など地域の特性を活かした産業の振興、スポーツやレクリエーション等の活動拠点の充実等により、都市部などからより多くの人々が訪れ、地域が活性化している。 地域の産業・生活を支える施設、観光等の交流施設 等
--------------	--



学術文化・交流・創造ゾーン



※ 歴史、文化、大学、観光などの資源と多様な人材のつながりが、市内に広がっている本市においては、あらかじめ場所を定めませんが、以下のような場所・施設を想定しています。

想定する場所の一例	施設の一例
伝統産業や生活文化が受け継がれる地域	京町家を保全したデザイン開発拠点
大学の周辺	起業を目指す学生や若手研究者が集うオフィス・ラボ
観光資源の豊富な地域	伝統文化を学べるミュージアム

将来像・暮らしのイメージ

- 1 伝統産業と最先端の技術やアートが結びつくなど、暮らしと調和したクリエイティブな活動が行われている。
- 2 学生や研究者などが多く集い、活発な交流が行われ、新たな技術やビジネスなどが生み出されている。
- 3 ほんものの歴史や文化、伝統に触れ、京都ファンが増えている。

